

# 東大病院だより

表題：海野濤山書

No. 42



入院棟 A からの隅田川花火大会 (7月26日 (土))  
(写真提供：入院棟 A 防災センター)

## CONTENTS

- ◆インタビュー 臓器移植医療部 ……………(幕内・野尻) ……2
- ◆新任教授ご挨拶 ……………(平井) ……4
- ◆平成15年度科学研究費補助金内定状況 ……………5
- ◆東大病院創立150周年に向けて  
第1回 お玉ヶ池種痘所設立(1858年) ……………(加我) ……6
- ◆東大病院の空中写真 ……………7
- ◆神田お玉ヶ池種痘所跡 ……………7
- ◆新しい病院施設整備のご説明 ……………8
- ◆平成15年度の研修医 ……………9
- ◆出来事 ……………9
- ◆東大キャンパスの“花鳥風月” ……………12

## インタビュー 臓器移植医療部

—臓器移植医療部長 幕内雅敏教授と移植コーディネーター 野尻佳代看護師にきく—



幕内雅敏教授と野尻佳代移植コーディネーター

《東大病院の臓器移植は、古くは1964年3月に国内初の生体腎移植が行われている。その後1996年1月に病院初の生体肝移植が行われ、今日では、肝移植数で国内2番目および3年生存率90%と国内でもっともよい成績を維持している。さらに2002年11月13日に病院初の脳死肝移植が実施され、成功した。そして、2002年10月28日には、心臓移植実施施設に指定された。臓器移植の基幹病院としての社会の期待は大きい。その中で、移植コーディネーターの必要性が高まり、2003年4月1日に臓器移植医療部が新設された。》

**Q. 平成15年度東大病院に新設された臓器移植医療部で、幕内先生のお役目がまた1つ増えましたが、現在の部の状況はいかがですか。**

**A.** 手術の件数は多く、私の専門分野（肝・胆・膵臓）で、先週は日曜から金曜まで毎日、計9名の患者さんを執刀しました。しかしながら、おかげさまで、4月1日より臓器移植部に移植コーディネーターの配置を決めてもらい、野尻さんに大活躍していただき、大いに助かっています。

**Q. 患者様からの投書でも、移植コーディネーターの登場により、臓器移植医療部の評判が大変よいのです。先生はご存知でしたか。**

**A.** はじめて、うかがいました。それは励みになるでしょう。ありがとうございます。移植コーディネーターは、調整役で、仕事の流れを円滑化させる専門職となります。特に臓器移植の世界では、医師とは別な人で、臓器を提供する方と臓器を受け入れる方の間で調整する専門職ということになります。

**Q. 移植コーディネーター配置前は、どなたが調整役だったのですか。**

**A.** 医師です。移植コーディネーター配置が実現してから、医師は医療に専念できることになりました。

**Q. 移植コーディネーター配置前と後ではどのように違いますか。**

**A.** 例えば、外来では、患者さんは免疫抑制剤の血中濃度を測るために8時半に採血し、薬を飲んで診察を待たされることとなります。コーディネーターはこの間、随時患者さんに問診を行い、医師による診察の順番の調整を行います。また、免疫抑制剤の血中濃度は、コーディネーターが細かく把握しており、医師はそれに従い、内服量を調整できます。このように、従来医師とコーディネーターが連携して業務を行うため、コーディネーター配置前後の患者のアメニティーが大きく違います。

**Q. 野尻コーディネーターにお聞きします。患者さんへのかかわり方というものは、どのようなことがあるのですか。**

**A.** 臓器移植医療部の移植コーディネーターは、遠藤看護師長と私の

2名です。私は肝移植が担当で、肝移植のドナー、レシピエントと家族に関わっています。相談対応が主ですが、外来での係わりが主なものとなっています。生体肝移植では、レシピエント（臓器を受け入れる人）の方もドナー（臓器を提供する人）となる家族の方も大きな不安を持っている方が多いです。初回の外来からきちんとした説明がないと不安が増えますから、手術に向けて首尾一貫した説明を行います。その後の入院してからの説明、手術室や各病棟のドクターやナースとの連絡、ICUとの連携では、劇症肝炎の患者様の情報提供などを適宜行っています。また、できるだけ患者様と接する時間を持つように心がけています。コーディネーターの仕事の魅力の一つは、初回外来から退院までまた退院後の外来もと継続して一人の患者様に関われることです。入院時は、各病棟のナースは24時間看護をし、ベッドサイドにいる時間が誰よりも長く、細やかなケアを行っていますからナースからの情報は重要です。皆で患者様を支援しています。

**Q. すばらしい活躍ですね。移植チームの一員として、幕内先生は、どのように見ておられますか。**

**A.** 高い職業意識を持ち、移植医療を切り拓く姿勢の方です。コーディネーターになることはご自身で選んだということなので、輝いて、いきいきと働いています。生きがいをもって一生懸命働いている方を見ていると、こちらも楽しくなります。

**Q. 打てば響くというか、痒いところに手が届くということでしょうか。**

**A.** ええ。移植チームのがんばる源泉になっています。また、フレッシュな方にきていただいてスタッフは皆喜んでます。

**Q. ところで野尻さん、手術に向かう患者様への説明のほかにもどのようなお仕事があるのですか。**

**A.** レシピエントと家族へは、退院後の生活のことをあらかじめお話ししておきます。例えば、移植後は免疫抑制剤を生涯服用することになりますから、感染対策についても説明します。そのために、ご家庭の情報収集もしておきます。これらは、患者様の手術直前ではなく、外来に来院した時点で面会を重ね説明します。患者様は、手術直前になりますと、気分が高揚したり、不安が大きくなったりと、術後のことまで考えられなくなる場合があるからです。

**Q. 患者さんへの説明の機会を逃さないということですね。**

**A.** ええ、なるべく機会を逃さないように心がけております。そして、患者様だけでなく、ご家族への配慮も重要だと考えています。生体肝移植ですと、当院ではドナーの条件は三親等内に限られておりまして、必然的に家族内でドナーが選ばれることとなりますので、家族の中での見えない強制力が働くと予測されます。ドナーとなられる方が納得した上で意志決定できるように、支援を心がけています。もちろん、幕内教授はじめ医療スタッフの意見なども聞きながらの対応となりますが、ドナーの権利を守ることも大切であり、ドナーを支える家族のことも配慮していかなければなりません。また、当然のことですが、レシピエントの家族への配慮もあります。

**Q. 幕内先生、コーディネーターという専門職としての確立に何か問題はありませんでしたか。**

**A.** そうですね。一番大きなデメリットは、給与でしょう。これだけの高度の専門職でありながら、現行の公務員の給与制度では、年齢主体で、給与体系への小回りが効きませんから、給与がダウンしてしまうのです。つまり、コーディネーターとなると夜勤が無くなりますので、給与ダウンしてしまいます。手術は、昼間が主体ですから。これは、むしろ、法人化となつてから期待したいところです。米国では、医者とパラメディカル（医師の仕事の周辺にいて支える人または職種）の関係や給与がきちりとなっており、それに加え、年齢主体でなく仕事量やその評価により、給与が決められていますので、コーディネーターの方でも私よりはるかに高い給与を得ている方はたくさんおります。それから、日本の場合は、コーディネーターという職名ですが、米国ではすでに、ドナーコーディネーター、レシピエントコーディネーターというように分かれており、脳死患者への家族への説得に当たったりもします。なにしろ、日本では、医者に対してパラメディカルの数は少ないのです。

**Q. コーディネーターについては、まだまだこれからということがよくわかりました。ところで、外科医幕内教授のことについてお伺いします。最近、朝日新聞社AERA誌に症状、身体の部位ごとに名医80リストが出て、また、名医として掲載された一般誌が増えましたね。**

**A.** そういう名医とかランキングとかが最近多いですね。しかし基本は1つ1つの積み重ねですよ。現在、東大病院の肝移植数は230。全国で京都大学に次いで2番目です。しかし、私たちが強調したいのは、退院率が96%以上だということです。患者さんが私たちの手術で、健康を回復され、いつまでも元気でおられるということに何よりの喜びを感じます。私は、信州大と東大の肝臓移植チームを組織として立ち上げてきました。立ち上げる喜びも大きいです。

**Q. 肝臓移植でのこれからの展開はどうなっていくのでしょうか。**

**A.** 何よりも脳死移植がたくさん出ないと始まらないということです。肝臓では生体肝移植ができるからまだいいのですが、心臓移植の分野で足踏みが続いています。マイナスばかり多いのです。例えば、ドナーを出した病院にかかる費用の援助が出ていないことが挙げられます。わが国では、赤ひげ（山本周五郎原作、赤ひげ診療譚。黒澤明監督「赤ひげ」でも知られ、主人公の医師新出去定のあだ名。新出去定のダイナミックな活躍にファンは多い）思想があり、手弁当で、ボランティアを強い形になっています。かつて、八戸の病院で脳死臓器の提供がありましたが、600万円ほどかかり、どこからもその経費保証がありませんでした。今なら、1000万円はかかるでしょう。ドナーを出す病院が損失をこうむり、医師の日常も旅費も出ないなどお寒い状況です。わが国で脳死移植をする場合、全て臓器移植ネットワークに関係するのですが、5年で20件しか出ていません。臓器移植ネットワークにかかる経費の一部をドナー病院に回すことが出来ないかと思います。また、死生観や倫理観などから脳死移植がまだ市民権を得ていないところにも脳死移植が進まない要因があると言われていますが、これは実情と合いません。もっとも、わが国での埋葬法1つとってみても、もともと儒教思想の土葬がある中で、明治政府の一言で火葬が主流になるなど、宗教による社会の規制が非常に少ない。言い換えれば、宗教が真の意味でほとんど存在しないのです。東大病院の臓器移植医療部に今回新たに心臓移植のためのコーディネーターとしての看護師長が新たに配置されました。とにかく心臓移植が増加してゆくことを期待しております。

**Q. 研究についてお伺いします。「基礎研究」と「臨床研究」のお考えはいかがですか。**

**A.** 「基礎医学」に基づいた研究が、「臨床医学」よりも評価されやすいのですが、これは、「臨床研究」というしっかりした概念がないからです。臨床医として、基礎研究は、短期ならいいのですが、長くなると外科医としての力量は低下します。困ったことに、「臨床研究」の概念を持たず、一生試験管を振ることが、研究と思っている方がいることも事実です。

**Q. 学生による臨床実習の評価を2年おきに行っていますが、その中の教官の評価では先生は人気が高いですね。**

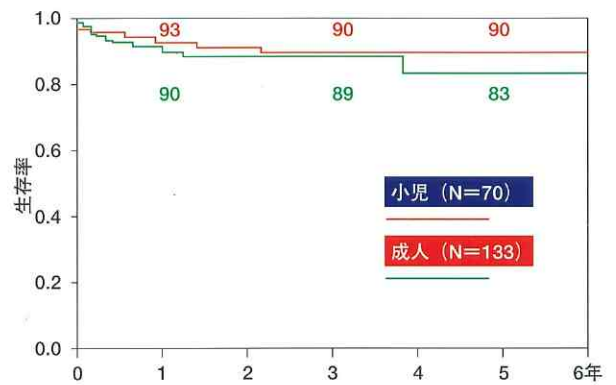
**A.** そんなこともないでしょう。厳しいですから。学生には、外来で診察に参加させたり、病棟では一晩泊って、患者さんの術後管理にも付き合わせます。手術も見てもらいます。手術解剖や医師としての生きがいなどを現場で教育しますが、あまりの手術時間の長さ、私の肩を枕がわりに使う学生もいます。ともあれ、学生の成長を見るのは楽しみです。

**Q. 外科医となる学生への生き方なるものを教えていただけませんか。**

**A.** 外科医の生き方、それはやりがいということでしょうか。手術と術後管理で長い時間がかかります。手術が終わり、帰宅する時間など、早くて夜11時、深夜2時などというのもあります。世の中の風潮は、「楽をして、得をするのがよい」という考え方が蔓延していますね。しかし、この考え方では、医師としての精神的満足度は低いと言わざるを得ません。仕事のやりがいや生きがいに早く目覚めなさいと言いたいですね。

**Q. 東大病院だよりに移植に関する指標、指針、指数を掲載したいので、提示いただけませんか。**

**A.** (図) は小児と成人に分けた術後の生存率の推移を示しています。この成績は、本邦のデータに比して、20%ほど良いのです。



(図) 生体肝移植術後の年数

**Q. 最後にお二人の趣味をお聞かせいただけますか。野尻さんから。**

**A.** 私は、西洋のお習字と呼ばれているカリグラフィーです。飾り文字で、御稽古ごとの1つです。飾り文字を作っている時間はとても楽しいです。

**Q. 先生のご趣味は。**

**A.** 釣りです。若い頃は、へら鮒釣りに熱中していたこともあるんですよ。しかし、そういえば、もう、釣りそのものを6~7年やっていません。

お二人ともお忙しい中、貴重なお時間を作っていただき、お話しをお聞かせいただきました。ありがとうございました。ますますの御活躍を期待しております。

(幕内教授室にてインタビュー 加我君孝、新川恭弘)

## 新任教授ご挨拶



血液・腫瘍内科／無菌治療部

平井久丸

このたび5月16日付けで血液・腫瘍内科を担当することになりました。これまで、血液・腫瘍内科副科長および無菌治療部副部長として勤めさせていただきましたが、今後も血液・腫瘍内科と併せて無菌治療部も担当させていただくことになりました。

血液・腫瘍内科は、白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫などの腫瘍性疾患を中心に、再生不良性貧血や骨髄異形成症候群のような造血障害性疾患、自己免疫性血液疾患、骨髄増殖性疾患など多種多彩な血液疾患の診療を行っております。これらの血液疾患の診療においては、造血幹細胞の分化・増殖の基礎理論、化学療法や放射線療法の治療理念、サイトカイン療法や免疫療法などの科学的根拠をよく理解し、適切な治療法を選択する必要があります。それぞれの疾病において個々人に応じた最適化医療を実現するためには、疾患の細分類や予後因子に基づいて症例の層別化を行い、臨床研究を通じて最適な治療法に関する確固たるエビデンスを見出して行く必要があります。

骨髄移植や末梢血幹細胞移植などの造血幹細胞移植は、造血器腫瘍や造血障害性疾患などに治癒をもたらす有効な治療法であるとともに、造血幹細胞制御、移植免疫、腫瘍免疫の見地からも論理性的の高い治療法であることが明らかになっています。このような造血幹細胞移植に対しては、血液・腫瘍内科と無菌治療部が緊密に連携して診療を行い、極めて良好な治療成績を挙げております（詳細は無菌治療部のホームページ <http://www.h.u-tokyo.ac.jp/mukin/> をご覧ください）。無菌集中医療は、関係する多くの診療科のご協力をいただき、検査部、輸血部、放射線部、感染制御部、薬剤部などの中央診療部との緊密な協力体制のもとに実施されております。今後も、血液・腫瘍内科および無菌治療部では、化学療法や

造血幹細胞移植を含めた集学的治療を行い、造血器悪性腫瘍の完全克服と完全治癒をめざして、さらに高度かつ良質な医療を実践していきたいと考えております。

造血幹細胞移植の延長線上には、細胞療法、遺伝子治療、再生医療などの高度先進医療があり、私たちはこれらを視野に入れた新しい治療法の開発研究を行っております。学内倫理審査委員会の承認をいただき、造血器腫瘍に対する骨髄非破壊的造血幹細胞移植（ミニ移植）、脾癌に村するミニ移植、HLA 不一致移植、樹状細胞療法などの臨床開発研究を行っております。トランスレーショナル・リサーチは新しい医療を創り出す上で重要であり、トランスレーショナル・リサーチを通じて高度かつ専門性の高い医療の実践をめざしております。このように医療の高度化をめざす一方で、安全性と倫理性に立脚した良質な医療の実践は、医療の現場における最も重要な要件であります。特に、血液・腫瘍内科および無菌治療部には悪性腫瘍患者や重症患者が多いため、精神的ケアも含めた全人的医療をこれまでも増して強く推進したいと考えております。

国立大学法人化、研修必修化、包括医療など大学院を取り巻く環境は大きな変革期を迎えておりますが、このような時期にこそ重要なことは、医学・医療の本来の理念を見失うことなく、原点に立ち戻ってその本質を追究することであるとと考えております。今後も引き続き、皆様方のご指導とご支援をお願い申し上げます。

### 略 歴

|         |   |
|---------|---|
| 昭和54年3月 | 東京大学医学部医学科卒                                     |
| 昭和54年6月 | 東京大学医学部附属病院内科研修医                                |
| 昭和56年6月 | 東京大学医学部第三内科医員                                   |
| 昭和60年5月 | 東京大学医学部第三内科助手                                   |
| 昭和62年8月 | カリフォルニア大学サンフランシスコ校留学                            |
| 平成2年4月  | 東京大学医学部第三内科講師                                   |
| 平成2年7月  | より平成6年12月まで<br>自治医科大学分子生物学講座客員教授を兼務             |
| 平成8年5月  | 東京大学医学部附属病院無菌治療部助教授                             |
| 平成10年4月 | 東京大学医学部附属病院血液・腫瘍内科副科長を併任                        |
| 平成13年2月 | 筑波大学基礎医学系先端学際領域研究センター教授を併任                      |
| 平成15年5月 | 東京大学大学院医学系研究科血液・腫瘍病態学教授<br>東京大学医学部附属病院血液・腫瘍内科科長 |
| 平成15年6月 | 東京大学医学部附属病院無菌治療部部長を併任                           |

## 平成15年度科学研究費補助金内定状況

文部科学省より平成15年度科学研究費補助金の採択が公表されましたので、これを基に東大病院の内定状況を表にまとめました。総額約11億円で東大全体の約20%を占めています。他大学の採択件数を御参照下さい。

|                 | 採 択 件 数 | 配 分 額 ( 直 接 経 費 ) |
|-----------------|---------|-------------------|
| 東京大学            | 1,064件  | 5,699,100千円       |
| 東大医学部 (東大病院を除く) | 138件    | 2,021,000千円       |
| 東大病院            | 280件    | 1,101,400千円       |

| 研 究 種 目    | 採 択 件 数 | 配 分 額 ( 直 接 経 費 ) |
|------------|---------|-------------------|
| 基盤研究 (A)   | 15件     | 163,800千円         |
| 基盤研究 (B)   | 60件     | 289,200千円         |
| 基盤研究 (C)   | 96件     | 160,200千円         |
| 基盤研究 (S)   | 2件      | 49,300千円          |
| 萌芽研究       | 28件     | 39,700千円          |
| 若手研究 (A)   | 4件      | 32,300千円          |
| 若手研究 (B)   | 43件     | 76,600千円          |
| 特別研究員奨励費   | 8件      | 9,400千円           |
| 特定領域研究 (2) | 24件     | 280,900千円         |
| 計          | 280件    | 1,101,400千円       |

### 参考：平成15年度（新規採択分）における採択件数

(文部科学省ホームページより抜粋)

#### (上位10機関)

|    | 機 関 名  | 採 択 件 数 | 配 分 額 ( 直 接 経 費 ) |
|----|--------|---------|-------------------|
| 1  | 東京大学   | 1,064件  | 5,699,100千円       |
| 2  | 京都大学   | 792件    | 3,592,400千円       |
| 3  | 大阪大学   | 693件    | 3,534,700千円       |
| 4  | 東北大学   | 659件    | 3,073,200千円       |
| 5  | 九州大学   | 506件    | 2,132,400千円       |
| 6  | 北海道大学  | 468件    | 2,166,200千円       |
| 7  | 名古屋大学  | 422件    | 2,112,000千円       |
| 8  | 東京工業大学 | 314件    | 1,690,700千円       |
| 9  | 広島大学   | 313件    | 1,015,100千円       |
| 10 | 筑波大学   | 301件    | 1,128,300千円       |

## 東大病院創立150周年に向けて

### 第1回 お玉ヶ池種痘所設立(1858年)

東大病院だより編集委員会委員長 加我君孝

平成15年(2003年)は江戸開府400年である。すなわち江戸幕府が徳川家康によって開かれて以来400年となる。東大病院の創立はいつか。東京大学の創立は明治10年(1877年)で、平成9年には創立120年記念行事を行った。120年記念行事は全学部が参加し、安田講堂がミュージアムとして一時的に変わり、医学部新教育研究棟のある場所に仮設の知のドームを展示室とした。医学部の担当は当時の医学部長、石川隆俊病理学教授の依頼で小生が担当し、知のドーム内に医学部コーナーには世界初の胃カメラ、山極三郎の世界初のウサギの耳にコルタール刺激で作った人工癌などを展示した。衛星放送用のビデオ2点(医学部標本室と太平洋戦争と医学部)も作成した。記念の市民公開講座“東京大学”では“東京大学医学部過去・現在・未来”の講演を行った。講演の準備の資料を調べるうちに、東大病院はいつ創立されたのか大いに関心を持つことになった。医学部は東大病院の歴史そのものである。始めに基礎医学の研究室が出来たのではない。診療所が作られたのである。

江戸時代の安政5年(1858年)お玉ヶ池種痘所が設立された。当時、幕府の医学は江戸城の漢方医が牛耳っていた。一方、長崎の出島を介して到来した西洋医学を学ぶべく、全国の若者が長崎に国内留学し熱心に学んだ。その一人に緒方洪庵がいた。初め江戸で坪井信道のもとでオランダ医学を学び、ついで長崎でオランダ医学を学んだ後、大阪で適塾を開いた。この適塾からのちの東大医学部のルーツとなる人材が輩出することになる。

幕末の1800年代半ばのヨーロッパではドイツの医学が最も進歩していた。我が国には出島を介して西洋医学が入ってきたためにオランダ医学といい、学んだ医師を蘭方医と呼んだ。西洋医学の威力を知られたのは牛痘であった。すなわちジェンナー(1749~1823)の種痘である。現在、地球上から天然痘が撲滅されてから久しいが、人類の歴史では天然痘はつい数十年前まで猛威をふるい、日本でも多くの人が亡くなった。種痘すなわちワクチン接種で予防が出来るというので全国に広がった。しかし江戸では漢方医の抵抗により公然とは接種が出来なかった。そこで蘭方医82名が幕府に公認の種痘所設立の嘆願書を伊東玄朴が中心に提出した。その中には漫画家の手塚治の祖父で適塾で学んだ茨城出身手塚良斎がいた。江戸城の漢方医によって何度も抵抗を受け却下されたがついに幕府も種痘の効果に目をつぶることが出来なくなり許可をした。その年、安政

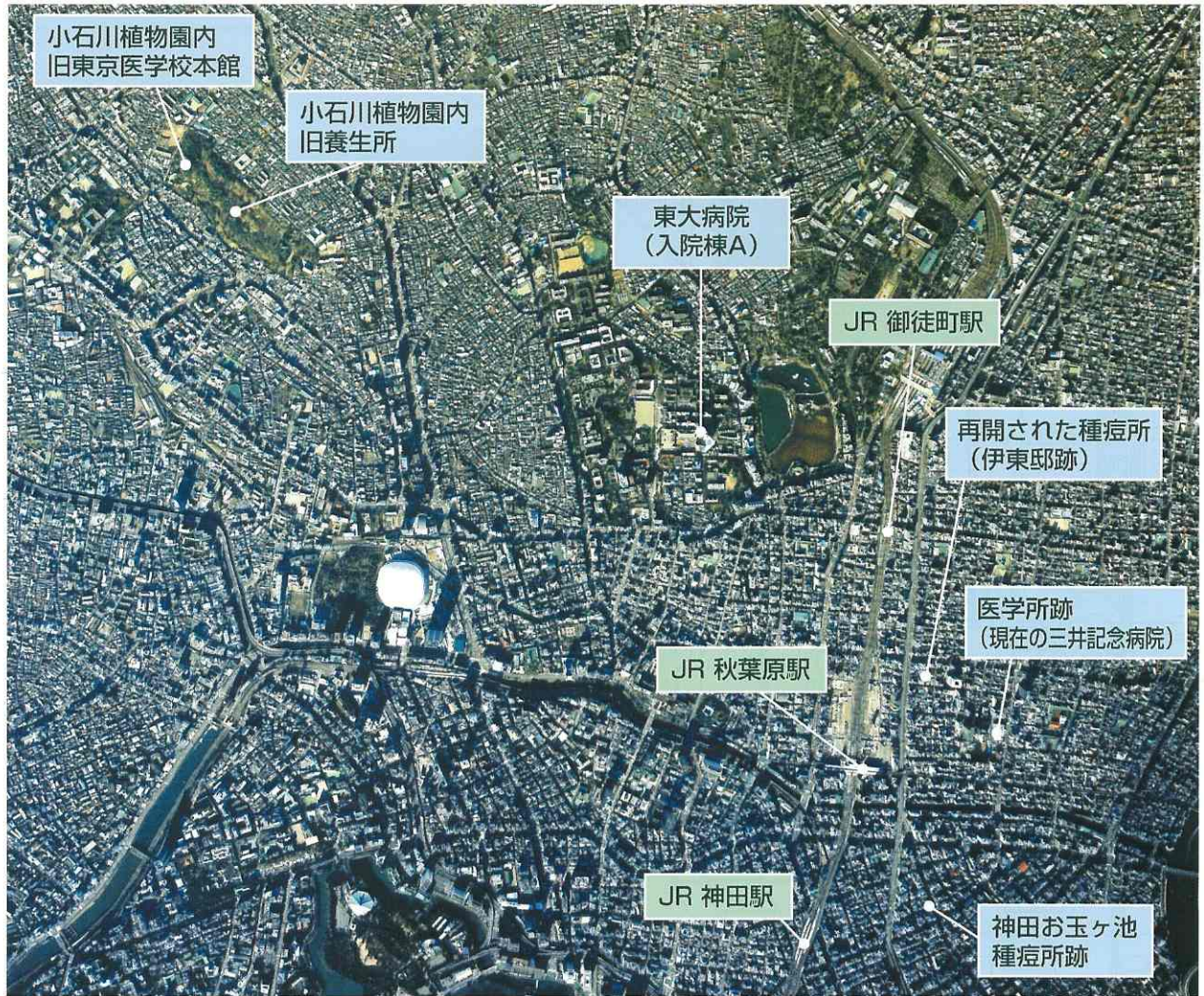
5年(1858年)より数えると今年は145年目になる。江戸の町民に種痘接種が始まった。現在の千代田区岩本町お玉ヶ池である(地下鉄都営新宿線岩本町下車)。現在、お玉ヶ池はない。記念する東大医学部が昭和33年に建てた“東大医学部発祥の地”とする記念碑と千代田区が作成した種痘所の解説とお玉ヶ池由来の解説のプレートがあるのみである。江戸は運河の町であった。江戸中に大小の川があり、物資の運搬は船でこの川と運河によって行われた。明治の文明開化で汽車や電車や地下鉄網の発達、そして道路の建設により、川や運河や池は埋め立てられた。お玉ヶ池も同じ運命を辿った。

お玉ヶ池種痘所では火事で設立後一年も経たないうちに焼失したため、神田お玉ヶ池種痘所の設立者の1人である伊東玄朴は、自宅のある区画で種痘所を再開した。その後、ある豪商の寄付でその代わりとなる診療所が現在の三井記念病院の地、千代田区和泉町に設立される。それが“医学所”と呼ばれるもので診療所と学校からなり幕府が経営した。この医学所の所長は頭取と呼ばれ緒方洪庵が大坂から呼び戻され第2代頭取を務めた。しかし緒方洪庵はその8ヶ月後に咯血して死亡し、そのお墓は駒込の高林寺にある。東大から歩いて20分ぐらいの所である。医学所は名前を大病院、大学東校、東京医学校など目まぐるしく変え、明治10年(1877)に現在の本郷に東京大学が創設され東大医学部として生まれ変わるようになった。この時から医学部は基礎医学と臨床医学からなり、附属病院を持つことになった。

東大病院はお玉ヶ池種痘所の設立が創立の年と見なすのが妥当と思われる。以来今年で145年で、5年後の2008年が区切りの良い創立150周年になる。空中写真で示すように東京の中心部だけを移動したことがわかる。実は明治になって大学東校設立計画によると初期の案は現在の上野公園の土地であった。すでに大学東校用地として購入してあることが地図にも書いてある。ところが長崎海軍伝習所で医学教育に当たっていたオランダ人・ボンペがここは公園にすべきと主張したために、他に用地を探して加賀藩上屋敷跡の現在の土地に東京大学が設立されることになった。現在の本郷も良い地区ではあるが上野公園に建設されていればもっと良い環境であったことは確かである。

今、東大病院だよりでは創立150周年に向けて歴史的な記録を順次掲載の予定である。

# 東大病院の空中写真 (国土地理院承認済)



## 神田お玉ヶ池種痘所跡：千代田区岩本町2丁目7番11号 加島ビル



写真1：昭和33年医学部創立100年記念に医学部が建てた元標



写真2：お玉ヶ池史蹟保存会作成のレリーフ (写真1の上)

**お玉ヶ池と種痘所**

お玉ヶ池は徳川初期には不忍池ほどの広さであったが安政のころには小さなものになり現在はそのあとかたもなく史蹟としてお玉荷が祀ってあるだけです。

一時は池のほとりに

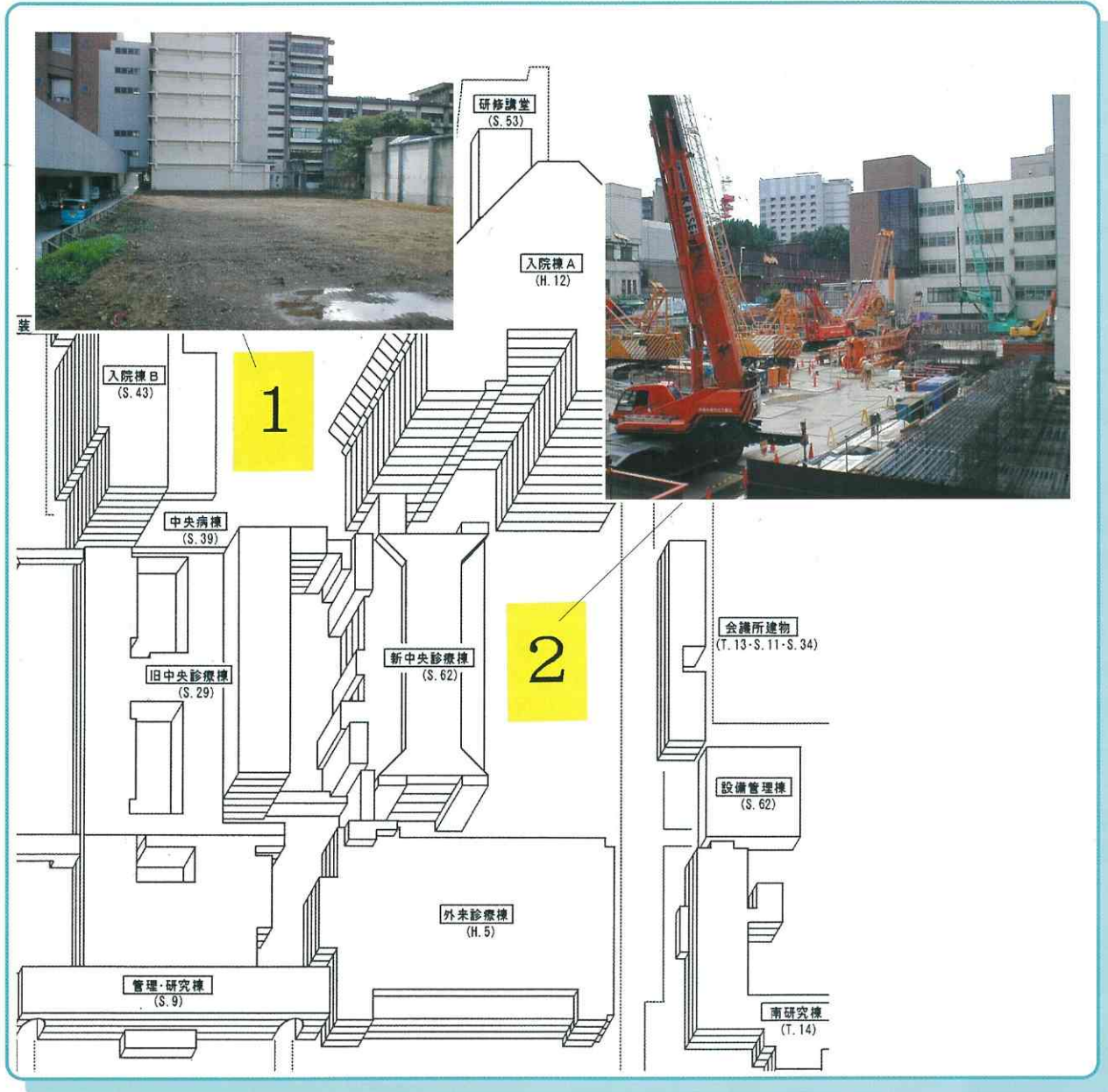
- 梁川星庵の玉池吟社
- 市川眞齋の江湖詩社
- 大窪詩佛の詩聖堂
- 東條一堂の瑤池塾
- 佐久間家山の象山書院
- 剣士千葉周作の道場玄武館
- 磯又右衛門の柔道道場
- 永坂石球宅 清元太左衛門宅など文武の華が咲きほころびました。

この標柱の場所は勘定奉行川路聖謨の屋敷内に設けられたお玉ヶ池種痘所があったところで東京大学医学部発祥の地です。同学部は昭和三十三年に迎えた創立百年の記念に昭和三十六年文化の日お玉ヶ池種痘所記念碑と同時にここに元標を立てられました。

お玉ヶ池史蹟保存会

写真2の内容

## 新しい病院施設整備のご説明



### 1 患者様用駐車場

入院棟 A と B の間のスペース (1) に患者様用駐車場を整備します。新たに168台分の駐車場ができ、これまでと合わせ約300台分の駐車場となります。平成15年11月末に完成予定です。

### 2 中央診療棟 (Ⅱ期)

入院棟 A と外来診療棟の間のスペース (2) に中央診療棟 (Ⅱ期分) が平成18年3月末完成予定です。各階構成は次のとおりです。

| 階    | 中央診療棟Ⅱ期                   |
|------|---------------------------|
| 9階   | ・「22世紀医療センター (仮称)」        |
| 8階   | ・「22世紀医療センター (仮称)」        |
| 7階   | ・病理部臨床病理                  |
| 6階   | ・リハビリ部・臨床試験部その他           |
| 5階   | ・手術設備室                    |
| 4階   | ・手術部                      |
| 3階   | ・周産母子診療部・血液浄化療法部・手術部その他   |
| 2階   | ・検査部生理・治験外来その他            |
| 1階   | ・救急部・光学医療診療部その他           |
| 地下1階 | ・組織バンク/CPC・放射線部診断/医療社会福祉部 |
| 地下2階 | ・病理部剖検                    |
| 地下3階 | ・放射線部治療                   |



## 平成15年度の研修医

学内92名、学外116名、計208名の研修医が5月に3日間のオリエンテーションを受け研修を

開始しました。平成16年度採用者よりスーパーローテーションに変わる予定です。

| 診療科名          | 学内      | 学外       | 計        |
|---------------|---------|----------|----------|
| 内科            | 40 ( 6) | 25 (10)  | 65 (16)  |
| 外科            | 6       | 12 ( 3)  | 18 ( 3)  |
| 心臓外科・呼吸器外科    | 1 ( 1)  | 1        | 2 ( 1)   |
| 脳神経外科         | 1       | 1        | 2        |
| 麻酔科・痛みセンター    | 0       | 6 ( 4)   | 6 ( 4)   |
| 泌尿器科・男性科      | 3       | 2        | 5        |
| 皮膚科・皮膚光線レーザー科 | 4 ( 1)  | 3 ( 3)   | 7 ( 4)   |
| 眼科・視覚矯正科      | 1 ( 1)  | 7 ( 3)   | 8 ( 4)   |
| 整形外科・脊椎外科     | 10 ( 1) | 13 ( 1)  | 23 ( 2)  |
| 耳鼻咽喉科・聴覚音声外科  | 2       | 5 ( 5)   | 7 ( 5)   |
| 形成外科・美容外科     | 3       | 0        | 3        |
| 顎口腔外科・歯科矯正歯科  | 0       | 6 ( 4)   | 6 ( 4)   |
| 小児科           | 6 ( 2)  | 8 ( 7)   | 14 ( 9)  |
| 小児外科          | 0       | 1        | 1        |
| 女性診療科・産科／女性外科 | 5 ( 2)  | 15 (10)  | 20 (12)  |
| 精神神経科         | 6 ( 1)  | 10 ( 5)  | 16 ( 6)  |
| 放射線科          | 2 ( 1)  | 0        | 2 ( 1)   |
| 救急部・集中治療部     | 1       | 1        | 2        |
| リハビリテーション部    | 0       | 0        | 0        |
| 病理部           | 1       | 0        | 1        |
| 計             | 92 (16) | 116 (55) | 208 (71) |

( ) は女性で内数

## 出来事

平成15年 5月～8月

### 5月13日 (火)

#### 防災マニュアルの院内 HP 閲覧開始

東大病院防災規程と東大病院大規模災害対策マニュアルの2件が院内向けホームページから閲覧開始

### 5月23日 (金)

#### ティッシュ・エンジニアリング部細胞プロセッシングセンター開設記念シンポジウム

場所：東京大学医学部 教育研

究棟14階 鉄門記念講堂

演題・演者

1. 「Scaffolding/DDS 技術をベースとした生体組織の再生誘導療法」

京都大学再生医科学研究所生体組織工学研究部門

田畑泰彦教授

2. 「細胞シートからの組織・臓器の再生」

東京女子医科大学先端生命医科学研究所

岡野光夫教授

3. 「ヒト ES 細胞株の樹立と医療応用へ向けての課題」

京都大学再生医科学研究所附属幹細胞医学研究センター

末盛博文助教授

4. 「幹細胞を利用した新しい医療の可能性」

東京大学医科学研究所ヒト疾患モデル研究センター

中内啓光教授

### 5月27日 (火)～5月30日 (金)

#### 手術室 ME 機器講習会のお知らせ (主に外科系研修医対象)

超音波診断装置：5500/6500 (アロカ)

超音波吸引器：ソノップ (アロカ)

超音波メス：ハーモニック (エチコン)

電気メス (パリラブ)

リガシュアー（バリラブ）  
手術顕微鏡：8000（オリンパス）  
ナビゲーション：ステルス（ソファモア）

## 6月6日（金）

中央診療棟（Ⅱ期）工事に伴う  
入院棟 A 接続部の解体工事は  
じまる



## 6月8日（日）

### 卒後臨床研修説明会

13：00～15：00

東京大学医学部臨床講堂

平成16年度第98回医師国家試験を受験する者（対象：学外者）

参考、卒後臨床研修プログラム

協力病院（27病院）

- あ 茨城県立中央病院  
太田総合病院附属太田西ノ内病院
- か 関東労災病院  
癌研究会附属病院  
公立学校共済組合関東中央病院  
公立昭和病院  
国立相模原病院  
国立病院東京災害医療センター
- さ さいたま赤十字病院  
三楽病院  
JR 東京総合病院  
せんぼ東京高輪病院
- た 筑波記念病院  
東京共済病院  
東京警察病院  
東京厚生年金病院  
東京専売病院

東京大学医科学研究所附属病院  
東京通信病院  
東京日立病院  
東京労災病院  
同愛記念病院

な 日本赤十字社医療センター

は 日立製作所日立総合病院

藤枝市立総合病院

ま 三井記念病院

や 焼津市総合病院

## 6月9日（月）

### MINCS 講演会（東大発信）

講演会場：ミンクス室（旧中央診療棟3F）

「医療提供体制の改革の基本的方向－医療提供体制の改革のビジョン案－」

演者：土生栄二（厚生労働省医政局総務課企画官）

## 6月10日（火）

### 《北米型臨床講義「内分泌救急」とピッツバーグ・ジャパンプログラム》の紹介

入院棟 A 15階 大会議室

演者：赤津晴子（ピッツバーグ大）

## 6月23日（月）

### MINCS 講演会（東大発信）

講演会場：ミンクス室（旧中央診療棟3F）

「特定機能病院の包括的評価制度導入について」

演者：矢島鉄也（厚生労働省大臣官房企画官）

## 6月24日（火）

### 外国語（英語を除く）会話状況の院内 HP 閲覧開始

東大病院スタッフが外国籍の来院者と対応する際、コミュニケーションがスムーズとなるよう、会話のできるスタッフ（英語を除く10言語29名）を院内向けホーム

ページから閲覧開始

対応可能言語：フランス語、中国語、スペイン語、ドイツ語、韓国語、チェコ語、スロバキア語、ポルトガル語、イタリア語、ペルシャ語、タイ語

## 6月24日（火）

### 老年病科で女性医師による女性のための外来開設

- ・体の不調がどこからきているのかわからない。
  - ・年のせい、といわれたけど心配。
  - ・介護に関する不安、悩みがある。
- など、これまでの外来診療で解決が難しかった患者様を中心に診療。
- 予約制で火・金曜 13：30～15：30

## 6月26日（木）

### リスクマネジメント研修（講演会）

「変革期にある医療訴訟」

東京地方裁判所新谷判事より、医療事故の法的争点について講演  
リスクマネジメント委員会

## 6月27日（金）

### 第1回褥瘡対策説明会（特に研修医は全員対象）

入院棟 A 15階 大会議室

褥瘡対策委員会

## 7月1日（火）

### 診療端末のパスワードの強制変更と有効期限について

他人の ID とパスワードを盗用してオーダーを発行するケースを防止する観点から、診療端末のパスワードの強制変更と有効期限についてこの日から変更を行った。

企画情報運営部

7月1日(火)

## 七夕コンサート(Jazz)

16:45~17:45



コンサートを鑑賞された方は約400名であった。

プログラム

1. ワンノートサンバ
2. 夕日に赤い帆
3. すきやき
4. 星に願いを
5. ブルーイングリーン
6. チャイルドイズボーン
7. キャリオカ

初夏(七夕)の午後~翌朝という一日の移ろいをイメージして流れをJazzで表現した。

医療サービス推進委員会



日時 7月1日(火) 16:45~17:45

会場 病院外来玄関ホール

伊藤潮トリオ(ジャズ)

田中邦和 ●サクソ

嶋津健一 ●ピアノ

伊藤 潤 ●コントラバス

ラモーナ ●ヴォーカル

ジャズのもつ癒しの力

病に悩む方々に、病に悩む方のように...

もうピアノじゃないでーもーも音楽家達との特別な

時間を過ごして心を癒してください。

よかったですね！

主催 東京大学医学部附属病院

医療サービス推進委員会

7月4日(金)

## 病理検査オーダーの電子化開始

企画情報運営部

7月4日(金)

## 入院カルテの記載の標準化開始

医療の質評価委員会

診療情報管理委員会

7月4日(金)

## 第2回褥瘡対策説明会(特に研修

医は全員対象)

入院棟 A 15階 大会議室

褥瘡対策委員会

7月8日(火)

米科学アカデミー紀要電子版に  
研究発表

山末英典医師と加藤進昌教授(精神神経科)らが、PTSD(心的外傷後ストレス障害)の発症に、脳の中の「前部帯状皮質」という部分がかかわっていることを、地下鉄サリン事件被害者の協力を得て、被害者の脳の画像解析で突き止めた。

7月9日(水)

## 国立大学法人法が成立

東大病院も来年4月1日より国の直轄から独立した組織として、また、教職員は非公務員として新たな出発をすることになった。

7月10日(木)

## 臨床技能実習室を公開

16:00~18:00

場所:旧外来病棟3階 臨床技能実習室(IBCICU)

総合研修センター

参考:臨床技能実習室は、研修医や医学生が患者様に接する前に、救命救急処置や身体診察などの臨床技能を、模擬的な実習で身につけるために新しく整備した。また、医師のみならず看護師や各種医療専門職者が臨床技能を学習する場、あるいは医療専門職者以外の職員等が救急蘇生の手技を学

ぶ場としても利用できる。

7月15(火)、16日(水)

## 後発薬品に関する病院長ヒアリング

約20件の薬剤他について後発薬品の採用が可能か検討された。

7月16日(水)

患者様・お見舞い客へ広報誌の  
配布始まる

患者様・お見舞い客が、「東大病院だより」や「フォーラム国立大学病院」などの広報誌を自由にお取りいただけるよう、配布が始まった。

配布場所は、外来棟1階ロビー、入院棟A1階入退院センター前で、いずれもパンフレットスタンドから自由に取り取ることができる。

なお、東京大学広報センター(龍岡門横)でも、これらの広報誌が自由に取り取ることができる。

7月17日(木)

## MINCS 講演会(東大発信)

16:00~17:30

演題・演者

1. 必修化される卒後臨床研修と評価について

西岡 清(東京医科歯科大学医学部附属病院 院長)

2. 共用評価システム(EPOC)について

田中雄二郎(東京医科歯科大学医学部附属病院 教授)

3. 大学病院医療情報ネットワーク(UMIN)について

木内 貴弘(東大病院助教授)

4. 質疑応答

MINCS 運営委員会

## 東大キャンパスの“花鳥風月”

### 夾竹桃 (きょうちくとう) キョウチクトウ科

御殿下グラウンドの夾竹桃は、梅雨の時期に花開く。ピンク色に近い紅色の八重咲は、梅雨景色の中であって、とても鮮やかです。インド・中近東原産。

花の名が入った歌では、さくら（桜）が圧倒的に多く、夾竹桃などあるのかと調べてみると、歌謡界の女王、美空ひばりが、「夾竹桃の咲く頃」という歌を持ち歌として、歌っていました。

御殿下グラウンドから夾竹桃をカメラで撮ると、写真のように被写体に病院のレリーフが眼に入ってきます。

病院のレリーフは、管理・研究棟の左右アーケード上部にそれぞれテラコッタ製のレリーフが嵌め込まれています。写真は、御殿下グラウンドから見て左側のもので、新海竹蔵氏制作の「医学の診断、治療、予防」です。このレリーフは、昭和9年3月、外来診療棟（現在は管理・研究棟）新



築の際に作られたもので、西日がレリーフに当たるとそこに描かれた人々に躍動感が出てきます。

梅雨時の午後に雨が止んで、西日が病院のレリーフを照らす時、夾竹桃の花の美しさとあいまって、ことさらに美しく感じます。

自然美と造形美のコントラストは、しばし時を忘れさせ、そこに立ち止まらせる見えない力を感じるものです。

### 7月17日 (木)

#### 平成15年度「21世紀COEプログラム」で採択2件

この日、優れた研究プログラムに重点的に予算が配分される「21世紀COEプログラム」の審査結果が文部科学省から発表された。医学系は27大学35件、東大は3件が採択された。

うち、医学系研究科からは東大病院関係が2件で、辻省次教授（神経内科）、永井良三教授（循環器内科）をそれぞれのリーダーとする研究プログラム、順に「脳神経医学の融合的研究拠点」と「環境・遺伝素因相互作用に起因する疾患研究」が採択された。

### 7月20日 (日)

#### 平成16年度3大学病院研修医選抜共通筆記試験

13:30～15:30

試験会場：東大本郷キャンパス内の指定場所

応募者数：769名

千葉大学医学部附属病院、東京大学医学部附属病院、東京医科大学医学部附属病院

### 7月29日 (火)

#### 「国立大学法人化に向けた医学部附属病院経営分析」第1回報告会

14:30～16:00

入院棟 A 15階 大会議室

新日本監査法人 牧 健太郎  
(公認会計士)

### 8月2日 (土)

#### 東京大学医学部附属病院研修医選抜面接試験

9:00～17:00

総合研修センター

発行 平成15年8月11日  
 発行人 永井良三  
 発行所 東京大学医学部附属病院  
 〒113-8655 東京都文京区本郷7-3-1  
 TEL 3815-5411

「東大病院だより」編集委員会  
 編集委員長 加我君孝  
 事務担当 総務課広報渉外掛  
 連絡先 TEL 5800-9769  
 E-mail: kohoAll@adm.h.u-tokyo.ac.jp  
 編集協力 医療サービス課  
 印刷所 株式会社 学術社